

特 集

四日市の冬の味

Kawaradamikan

河原田みかん

本格的に寒くなるこの季節。「こたつでミカン」を楽しむ人も多いのではないのでしょうか。ミカンといえば、和歌山県・愛媛県・静岡県を思い浮かべることが多いのですが、四日市の河原田みかんもお忘れなく。今回は、本市で明治時代から栽培されている、河原田みかんの魅力に迫ります。



河原田みかんとは

河原田みかんの歴史は古く、明治時代の末ごろまでさかのぼります。当時の河原田村長の熊澤市兵衛が、河原田山の地質調査を行ったところ、この地域がミカン栽培に適していることが分かりました。そこで、ミカン栽培地の静岡県へ有志数人を派遣して、栽培方法を習い、河原田の地にその技術を持ち帰っ

たことが始まりです。

当初は3ヘクタールの土地を開墾し、最盛期の昭和30年代後半には25ヘクタールまで広がりました。現在ではミカンの栽培を手掛ける農家は最盛期の半数程度となりましたが、「おいしいミカン」を追求し、改良を重ねて、今の河原田みかんがあります。

河原田みかんの特徴



昔は、酸っぱいと言われていた河原田みかんですが、河原田独自配合の肥料や品種改良などをした結果、今では程よい酸味と甘みのある「おいしいミカン」とファンからの支持を得られるようになりました。

また、他のミカンに比べ保存がきく品種であることから、長い期間ミカンを楽しめると喜ばれています。

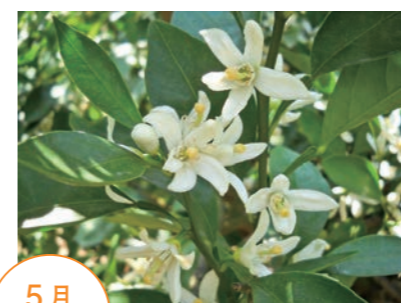
小学校の給食にも登場

例年12月に実施されている「四日市ふるさと給食の日」では、給食に河原田みかんが出るがあります。地元の河原田小学校では、ミカン農家の人から、河原田みかんの魅力や栽培の苦勞を教えてもらいます。さらに、実際にミカンに触ったり食べたりして、自分たちのまちで採れたミカンについて勉強します。



令和3年11月 河原田小学校

河原田みかんができるまで



5月上旬 開花したミカンの花



6月中旬 ミカンの幼果



9月中旬 大きくなった果実



10月上旬 色づき始めた果実



11月中旬 色づいた収穫前の果実

冬のお供に、河原田みかん



ミカンの天敵 カミキリムシ

1匹のカミキリムシが若いミカンの木に食い込んだだけで木が枯れることも...



カミキリムシが木に進入しないように、テープを巻いて予防します





河原田柑橘組合
会長 藤田昭一さん

祖父の時代に栽培し始めたミカンは、私も子どもの頃から父親の手伝いで一緒に世話をしてきました。

今では消費者の皆さんからおいしいと言ってもらえる河原田みかんですが、その昔は形が悪くて、酸っぱいと言われていました。また、購入場所が限られ、広く普及はしていませんでした。

そこで10年ほど前から地元の農協と協力して、河原田独自の肥料を配合したり、JAみえきた四季菜で販売してもらったりして、おいしいミカンをより多くの人に食べてもらえるよう取り組んできました。

河原田みかんの最盛期は、昭和の中後期で、河原

田地区で25ヘクタールほど栽培されていました。しかし近年では、農家の高齢化と後継者不足から、毎年減ってきています。

ミカン栽培では、病気や害虫を防ぐため、年間を通して10回程消毒をしたり、こまめに雑草を取ったりするなど、とても手間が掛かります。手入れがされなくなった木はすぐに枯れてしましますが、しっかりと手入れされたミカンの木は、100年経っても実を付けます。これからもしっかり手入れを続けておいしいミカンを作っていきたいですね。



河原田みかんは主にJAみえきた四季菜で購入できます



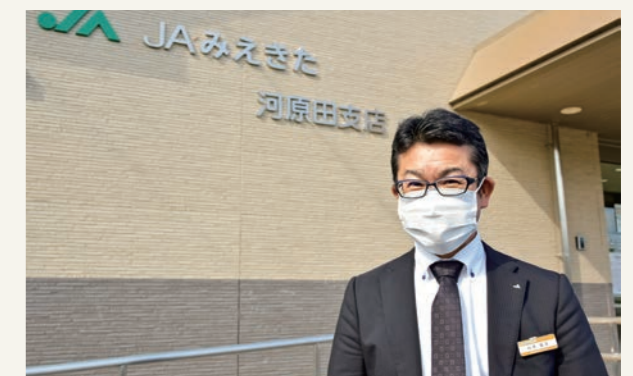
	名称	所在地	電話番号
①	JAみえきた 四季菜 大矢知店	大矢知町1065-1	361-6644
②	JAみえきた 四季菜 下野店	朝明町530-2	337-4368
③	JAみえきた 四季菜 内部店	采女町864	345-7889
④	JAみえきた 四季菜 日永店	日永西三丁目1-26	349-5100
⑤	JAみえきた 四季菜 常磐店	城東町19-5	354-8892
⑥	JAみえきた 四季菜 尾平店	尾平町1688-1	334-7321
⑦	JAみえきた 四季菜 西部店	菰野町大強原3167	394-6322



ミカンの栽培は1年を通して、とても手間暇が掛かります。そんな中、農家の皆さんはより良いものを提供したいという思いで、試行錯誤しながら作っています。

JAみえきた河原田支店では、肥料・農薬の供給やミカンの栽培研修を通じて、ミカン農家の皆さんのお手伝いをしています。

河原田みかんは程よい酸味と甘みがあるおいしいミカンなので、四季菜へお立ち寄りの際は、ぜひお召し上がりください。



三重北農業協同組合 (JAみえきた)
河原田支店 支店長 山本竜司さん

●この特集についてのお問い合わせ・ご意見は

農水振興課 ☎ 354-8180 FAX 354-8307